

# 特別会計48億4,070万円

### 定例会の要 定概

平成29年第1回芳賀町議会定例会が3月2日から16日までの15日間の会期で開催されました。

第1日目は全議案を上程し、町長から提案理由の説明を受け、人事案件を採決しました。一般質問は第5日目の3月6日に行われ、3人の議員が町政について質問しました。第6日目に平成29年度予算を除く議案の質疑・討論・採決を行いました。第7日目に平成29年度予算の質疑を行った後、予算の審査を常任委員会に付託しました。最終日に平成29年度予算を原案どおり可決し、閉会しました。

## 将来像実現のための

## さまざまな取り組みを加速

平成29年度の予算総額は121億4070万円です。前年度に比べ900万円の減となりました。

一般会計歳入歳出の総額は73億円で、前年度に比べ4億700万円の減、特定の事業を行うために一般会計と区別して経理される特別会計歳入歳出の予算総額は、48億4070万円です。前年度に比べ3億9800万円の増となりました。

歳入の根幹をなす町税は、工業団地立地企業の積極的な設備投資などにより、固

定資産税の増収が見込まれるものの、法人町民税の伸びが見込めない状況にあります。

歳出は、LRT整備事業や芳賀高校跡地の宅地造成事業、祖母井市街地整備事業などの中長期の大型事業が本格的に展開し、多額の支出が予定されています。

また、町有施設の経年劣化による修繕費や国民健康保険・介護保険などの社会保障関係経費が増大することから、財政硬直化の進行が懸念され、厳しい財政状況

が続くと見込まれます。

本年度は、「躍動する芳賀の町 未来につなげよう」を将来像とする第6次

芳賀町振興計画及び芳賀町まち・ひと・しごと創生総合戦略の2年目となり、将来像実現のためのさまざまな取り組みが実施されます。

■平成29年度各会計予算

会計名		予算額
一般会計		73億円
特別会計	国民健康保険	23億2,400万円
	農業集落排水事業	1億8,500万円
	芳賀工業団地排水処理センター	5,010万円
	介護保険（保険事業勘定）	13億8,100万円
	介護保険（介護サービス事業勘定）	470万円
	公共下水道事業	3億円
	祖母井南部土地区画整理事業	3,250万円
	宅地造成事業	4億2,440万円
	後期高齢者医療	1億3,900万円
合計	121億4,070万円	



# 平成29年度予算を

## 一般会計73億円

### 話題をつなげる



- ・農産物ブランド化の推進 272万円
- ・北部第2地区ほ場整備事業の調査計画 1,897万円
- ・道の駅農産物直売所の機能強化 1,753万円
- ・商店街等活性化補助金 100万円

### 笑顔をつなげる



- ・芳賀赤十字病院建設事業費負担金 4,370万円
- ・子どもの居場所づくり事業 8万円
- ・地域包括支援センターに生活支援コーディネーターを配置 351万円

### 地域をつなげる



- ・自治会活動などの支援 1,466万円
- ・消防団員の装備の改善・充実、防災士の資格取得 229万円
- ・消防団詰所改修工事 648万円



### 平成29年度の主な事業内容



- ・芳賀高校跡地の宅地造成工事 4億2,369万円
- ・LRT整備費 2億2,223万円
- ・祖母井中部市街地整備 2,883万円

便利をつなげる



- ・ALTを各小中学校に配置 1,607万円
- ・中学生のイングリッシュキャンプ 26万円
- ・教育支援センター設置など教育相談費 503万円

教育をつなげる

# 平成29年第1回芳賀町議会定例会提出議案

## 選任同意

□芳賀町固定資産評価審査委員会委員の選任について

平成29年3月31日付で任期満了となる芳賀町固定資産評価審査委員会委員の杉田仁氏（下高根沢）が、引き続き最適任者として議員全員の同意により選任されました。



▲杉田 仁氏

□人権擁護委員の候補者の推薦について

原田幹也氏の後任として、荒井俊夫氏（西水沼）を最適任者として法務大臣に推薦することを議員全員が同意しました。

なお、原田氏には、9年間にわたりご尽力いただきました。



▲荒井俊夫氏

## 条例改正

□芳賀町税条例等の一部改正について

**内容** 地方税法等の一部改正に伴い、町税条例等の一部を改正するもの。①個人住民税における寄付控除の適用範囲について、寄付行為の対象となる法人又は団体の所在の規定を「県内」から「町内」に改めるもの。②消費税率の引き上げが平成31年10月1日に変更となったことに伴い、個人住民税における住宅ローン控除適用期限の延長や軽自動車税

のグリーン化特例の適用期限の延長、法人税割の制限税率引き下げ時期の延期などについて規定するもの。  
(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町国民健康保険税条例の一部改正について

**内容** 地方税法等の一部改正に伴い、国民健康保険税条例の一部を改正するもの。現在81万円の国民健康保険税の賦課限度額を、医療分で3万円、後期高齢者支援金分で3万円、介護納付金分2万円、合計8万円を引き上げ、89万円とするもの。  
(質疑・討論なし、原案可決)

小林一男議員

(討論なし、原案可決)

□芳賀町介護保険条例の一部改正について

**内容** 消費税の引き上げが平成31年10月1日に変更となったことに伴い、介護保

険条例の一部を改正するもの。①平成27年度から平成28年度までの保険料率の第1段階の軽減について平成29年度まで継続する。②介護保険法施行令の一部を改正する政令が平成29年4月1日に施行されることに伴い保険料率について平成29年度のみの特例を設けるもので、65歳以上の第1号被保険者の保険料の算定に用いる合計所得金額について、現在、土地等を譲渡した場合、税法上の特別控除が適用されていないことから、租税特別措置法に規定される長期譲渡所得及び短期譲渡所得に係る特別控除額を控除するもの。  
(質疑・討論なし、原案可決)

部改正について

**内容** 個人情報の保護に関する法律及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正等に伴い、

□芳賀町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

2つの条例の一部を改正するもので、町独自にマイナンバーを利用する場合において、情報提供ネットワークシステムを利用した情報連携を可能とするもの。  
(質疑・討論なし、原案可決)

**内容** 地方公務員の育児休業等に関する法律等の改正に伴い、育児休業に係る子の範囲の拡大、介護休業制度の拡充について改正するもの。  
(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について

**内容** 地方公務員法の改正に伴い、フレックスタイム制度に対応するための条項などを追加するほか「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」及び「地方公務員の育児休業等に関する法律」等の改正に伴い、育児休業制度の拡充などについて改正するもの。  
(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町職員の配偶者同行休業に関する条例の一部改正について

**内容** 地方公務員法の改正に伴い、根拠条項を改正し、配偶者同行休業の期間延長についての条項を追加するもの。  
(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町情報公開及び個人情報保護に関する条例の一部改正について

□芳賀町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正について

□芳賀町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

□単純労働職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について

**内容** 「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」等の改正に伴い、育児に係る子の範囲の拡大、介

護休業制度の拡充について改正するもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町ふるさと交流体験センター設置及び管理に関する条例の一部改正について

□「道の駅はが」の中に

ある芳賀町ふるさと交流体験センター「友遊はが」のテナント料金を変更するため、条例の一部を改正するもの。

「友遊はが」のテナント料金は、1平方メートル当たりの月額基本利用料金と月額売上に対する歩合利用料金の2種類で構成されており、歩合利用料金の割合は、売上額に応じて2段階に設定されている。今回の改正は、テナント料金の歩合割合3.5%を廃止し、2.5%のみにするもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町商業集積地共同店舗設置及び管理に関する条例の一部改正について

現在、「モテナス」の

テナント料金は、1平方メートル当たりの月額基本

利用料金と月額売上に対する歩合利用料金の2種類で

構成されている。出店者の販売促進や販売意欲の向上のため、テナント料金を基本

利用料金のみとするもの。(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町光の道ネットワーク施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について

放送法に基づいて文言を「再送信」から「再放送」に変更するとともに、

芳賀町光の道ネットワーク施設のサービス名「デジタル基本」を「B.S.パスルー」に、「ひかり多チャンネル」を「デジタル多チャンネルプラス」に変更するもの。

また、サービス名の変更に伴い「テレビ利用料金」及び「インターネット利用料金」を変更するもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□平成28年度芳賀町一般会計補正予算(第4号)

総額に1億3191万8千円を追加し、予算総額を80億616万2千円とするもの。

総額から860万円を減額し、予算総額を7800万円とするもの。

水沼孝夫議員、岩村治雄議員

□平成28年度芳賀町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

総額に1億976万7千円を追加し、予算総額を23億7241万6千円とするもの。

総額に1億976万7千円を追加し、予算総額を1418万2千円とするもの。

平成28年度芳賀町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

総額に170万円を追加し、予算総額を1億9343万3千円とするもの。

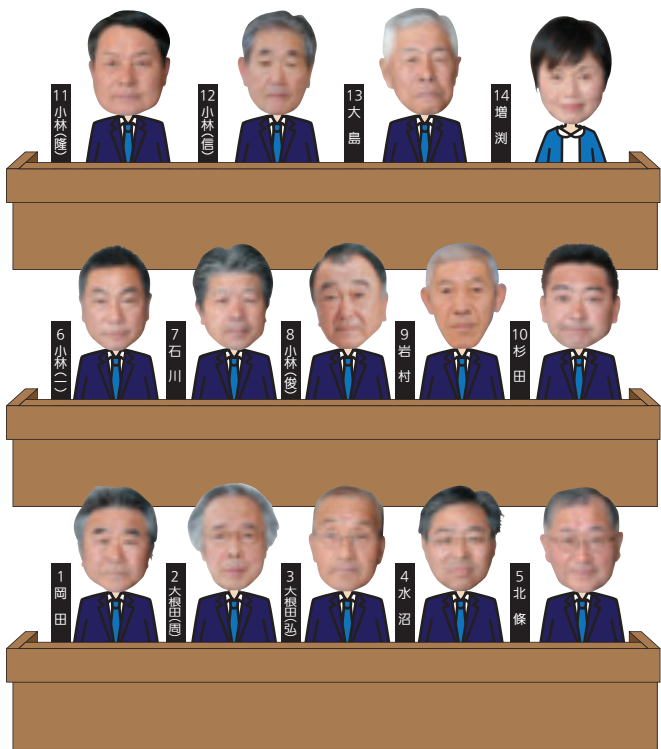
平成28年度芳賀町介護保険特別会計補正予算(第1号)

総額から797万9千円を減額し、予算総額を2億9032万1千円とするもの。

総額から797万9千円を減額し、予算総額を2億9032万1千円とするもの。

平成28年度芳賀町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

総額に2150万6千円を追加し、予算総額を9420万6千円とするもの。



※数字は議席の番号です

# 平成29年度 一般会計予算 特別会計予算の主な質疑

**答** ことも育成課長 平成28年12月に成立した「教育機会確保法」を基に、不登校の児童生徒が学校以外で学ぶことができるように支援するものです。学習の重要性や児童生徒の学校復帰に向けて環境整備を行います。

**問** 北條 勲 議員  
防災士資格取得負担金について伺う。

**答** 総務課長 防災士の育成を目的に職員の中で消防団に入っている3名と消防団本部から1名を予定しています。

**問** 大根田周平 議員  
県営建設事業負担金1千728万5千円の内容について伺う。

**答** 農政課長 基幹水利施設ストックマネジメント事業（芳賀台地、鬼怒中央の土地改良整備）と農山漁村地域整備交付金（打越新田の土地改良整備）に伴う町の負担金です。

**問** 水沼孝夫 議員  
教育支援センターの開設について伺う。

**問** 小林隆志 議員  
結婚支援活動支援事業交付金について伺う。

**答** 生涯学習課長 芳賀町とちぎ結婚支援センター登録補助金要綱の規定に基づきとちぎ結婚支援センター登録料の二分の一を補助します。

**問** 岡田年弘 議員  
芳賀町企業立地促進事業費補助金の内容について伺う。

**答** 商工観光課長 企業が新規に工場を建設・増築した場合に固定資産税や都市計画税に相当する額を補助するものです。

**問** 岩村治雄 議員  
空き家対策協議会の設置について伺う。

**答** 都市計画課長 空き家の認定基準や判定にあたっての町民の立場や専門的な立場の方の幅広い意見を求めるために協議会を設置します。

**問** 大根田弘 議員  
町民会館の防犯カメラの設置箇所について伺う。

**答** 生涯学習課長 正面玄関と南側入り口の計2カ所に設置します。不審者の侵入防止に役立つと考え、同時に防犯カメラ設置中と

いう表示を設置します。

**問** 大島 浩 議員  
農産物直売所を核とした小さな拠点づくり整備事業について伺う。

**答** 農政課長 道の駅の農産物直売所が近年売り上げが低下していることを受けて、その改善を目的として取り組むものです。県の事業が対象で、ソフト事業に対し2分の1、ハード事業においては10分の4の補助金が受けられます。

**問** 杉田貞一郎 議員  
中学2年生を対象としたイングリッシュキャンプは30人を2回の60人を募集するということが、2年生全員を受け入れるのではないのか。

**答** 教育長 1回30人の募集で、それを上回る応募があった場合は可能と予定していますが、全員の受け入れというわけにはいきません。

**問** 小林信一 議員  
食肉センター補助金の出資金500万円について伺う。

**答** 農政課長 運営費にかかわる出資金です。県内市町の合計が1億5千万円で、当該市町の家畜の等数割りで金額が決まります。牛1頭で豚4頭換算になっており、芳賀町は5989頭、県内の豚の頭数が951432頭、これを割ると県内に占める割合が0.63%となり、負担割合が1%未満で500万円ということになっています。

**問** 小林俊夫 議員  
備品の管理について伺う。

**答** 会計課長 備品台帳で管理しています。財務規則に基づき、各課に整理・保存してあります。

**問** 小林一男 議員  
農産物直売所を核とした小さな拠点づくり整備事業の中で精米機の導入が計上されているが、この活用方法について伺う。

**答** 農政課長 現在直売所で販売している米の精米は、茂木町にあるJAはが野の精米所を使っていますが、これを直売所内でできるようにするものです。今後JAと話しながら販売方法についても検討し、精米機の有効活用を図っていきたく考えています。

**問** 石川 保 議員  
祖母井保育園の病後児保育の実態と今年度の見込みを伺う。

**答** ことも育成課長 町民の方からの要望にお応えし、病気のあと若干安静を必要とするお子さんをお預かりしているものです。平成29年度は延べ6人程度を見込んでおります。

# 常任委員会予算審査

総務・教育民生・産業建設常任委員会は3月9日から15日まで平成29年度芳賀町一般会計予算及び特別会計予算の書類審査と現地調査を行いました。

各委員会は、3月16日の本会議において意見を付して予算を認定しました。

## 総務常任委員会

□書類審査（3月10日）

総務課、企画課、税務課、会計課、議事事務局、監査委員事務局

□現地調査（3月14日）

消防センター（1-2、3-4）、農業者トレーニングセンター

①審査の意見または特に留意すべき事項

① 經常収支比率が上昇傾向にある中、大型事業が予定されていることに鑑み投資的経費を抑制した予算は評価できる。適正な予算執行、収納率向上により財政の柔軟性を確保できるよう努められたい。

② 洪水ハザードマップ作成にあたっては、地域実情を加味し町民の防災減災に役立つものとされたい。



▲書類審査



▲現地調査

## 教育民生常任委員会

□書類審査（3月8日、10日）

住民課、健康福祉課、高齢者支援課、環境対策課、こども育成課、生涯学習課

□現地調査（3月14日）

総合情報館、芳賀中武道館、防犯カメラ（工業団地内）、障害児者相談支援センター（市貝町）

□審査の意見または特に留意すべき事項

① 要支援・要介護の予防とともに、要介護状態となった場合においても、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援するための地域支援事業に取り組んでいるところである。

② 医療機関、介護サービス事業者との連携のもと、在宅医療・介護連携推進事業についても平成30年4月からの実施に向けて取り組まれ、地域包括ケアシステムの構築に努力されたい。

③ 教育民生常任委員会所管の関係各課には保育士、学芸員、司書など多くの専門職で嘱託職員や臨時職員が多い現状である。安定的に高度な住民サービスを提供するために、正職員を配置するよう配慮されたい。



▲書類審査



▲現地調査

## 産業建設常任委員会

□書類審査（3月10日）

農政課、商工観光課、建設課、都市計画課

□現地調査（3月14日）

芳賀高校跡地造成状況、食肉センター整備状況、稲毛田社后（梨栽培）、銭時線、久津方・河井線、遊水地、飯島・上横西線、友遊はが

①本町は線引きによって大きな人口ロスが生

じており、線引きの意味が問い直されている。将来世代に禍根を残さぬよう中長期視点での人口ビジョンに対する根拠として自然減と世帯あたりの人数の減少をもとに、必要な住宅ストックを求めて整備していく必要がある。芳賀高校跡地以後の大幅な住宅ストック増を見込めないため、早急な土地利用計画の見直しと線引き見直しへの対応を強く求める。

② 道の駅やモテナス商業集積地においても営業スタイルや施設の経年劣化が目立ち、本町の商業の将来像が見出せなくなっている。既存の商業施設の更新や、個々の商業者、商店街の意欲的な販促活動を支援し、地元購買率を高めていくことが重要である。区画整理や地区計画によるミニ商業集積地の配置や消費者、地域、商工会と連携して新たな芳賀町商業ビジョンの作成をされたい。

③ 工業団地内街路樹及びサクラ・ケヤキ等伐採剪定について、芳賀町のシンボルである木「げやき」は町木として昭和52年に制定され、一方芳賀工業団地内の桜並木は憩いの場としても栃木県内において大変有名であり、それぞれ価値ある存在である。今後LRTとも鑑み、周辺環境とあわせ街路樹の維持管理等については、町としてのその方向性と在り方を明確にするよう努められたい。



▲書類審査



▲現地調査